

スキル標準の在り方に関する研究会の進め方について

平成 26 年 1 月
情報処理振興課

1. 研究会の開催趣旨

平成 21 年以降、スキル標準については、個々のスキルやタスクは随時反映したものの、キャリア・フレームワークの拡充等の大幅な見直し等は実施していない。具体的には、情報セキュリティやクラウド等で活用するスキルは反映したものの、産構審人材 WG で示された次世代高度 IT 人材をはじめビッグデータやモバイルといった時代に即した人材モデルは発信しておらず、世の中の要請に応えきれていないと認識しており、テコ入れが必要な状況である。

加えて、スキル標準の運営体制についても、今後の継続的な運営といった観点から考えると、情報処理技術者試験との関係に配慮しながら、見直しが必要な状況となっている。

これらを踏まえ、国が今後のスキル標準に係る枠組みについて方針を示し、民間主体でのスキルやタスクのメンテナンスや普及方法等を推進したく、関係者(団体)の間で合意を得て、継続的な仕組みを構築することを目的として本研究会を開催することとする。

2. 研究会の内容について

(1) これまでのスキル標準の取組について

- － これまでの成果を整理

(2) 日本再興戦略、世界最先端 IT 国家創造宣言等との関係

- － 各種戦略との整合性を図った上で今後の実施事項等を整理

(3) スキル標準に関する今後の在り方について

- － 以下のような項目について、国、関係団体等の役割等を含めた在り方を整理
 - スキル標準に係る枠組みの維持・管理等
 - タスク・スキルモデルの充実・メンテナンス
 - スキル標準の普及・促進策
 - スキル標準の活用を支援するシステムの構築・提供
 - (中長期の課題として、産学連携、スキル評価、グローバル展開等についても検討を行う。)

